

和歌山縣報

號 外

大正五年三月二十五日

○縣 令

○和歌山縣令第十二號

明治四十年^{三月}縣令第二十四號和歌山縣稅賦課細則左ノ通告正シ大正五年四月一日ヨリ施行ス
大正五年三月二十五日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

和歌山縣稅賦課細則

第一條 縣稅營業稅雜種稅ヲ納ムヘキ義務アル者ハ納稅義務發生ノ即日左ノ事項ヲ具シ住所^地ノ郡市長ニ届出ツヘシ

但シ他ノ法令ノ規定ニ依リ知事又ハ警察官署ニ届出ツルモノ若クハ其ノ許可認可又ハ檢査ヲ受クルモノハ此ノ限ニ在ラス

一 住所、氏名、課目、種別、營業ノ場所、物件ノ所在地、船舶ノ船籍港又ハ定繫場

二 鑑札ヲ受クヘキモノ^(船、自轉車ヲ除ク)ハ生年月日

三 商業、工業^(職工ヲ除ク)料理屋、飲食店ハ資本金、賣上金、收入金、報償金、請負金ノ一箇年見

積額

海面漁業ハ漁具、漁船、從業人員

私法人建物稅ハ土地建物ノ種別、坪數並建物賃價格

其ノ他ハ課目課額ニ定メタル課稅標準

國籍證書ヲ受有セル船舶ニ在リテハ前項屆書ニ其ノ證書寫ヲ添付スヘシ

居住地外ニ營業場ヲ設ケ又ハ物件ヲ所有スル者ニ在リテハ各別ニ其ノ所在地、船舶ニ在リテハ船籍港又ハ定繫場ノ所在地、縣内ニ居住セサル賃乘人ニ在リテハ便宜ノ地ノ郡市長ニ届出ツヘシ

第二條

縣外ニ於テ所有シ使用シ占有スル土地、家屋、物件ノ收入又ハ縣外ニ於テ營業所ヲ定メタル營業者ハ其ノ收入ニ對シ本稅ヲ分別シテ納メサル者ハ本稅ノ決定シタル日ヨリ三日以内ニ本稅額及左ノ事項ヲ具シ郡市長ニ届出ツヘシ府縣制第百六條ニ該當スル納稅義務者ニシテ本稅ヲ分別シテ納メサルモノ亦同シ

一 國稅營業稅ニ在リテハ營業場別課稅標準及收益金但シ倉庫業、鐵道業、收益金ヲ除ク

一 所得稅ニ在リテハ府縣別所得並其ノ細則

一 鑛區稅ニ在リテハ鑛區ノ屬スル府縣別地表ノ面積

一 鑛產稅ニ在リテハ營業場別鑛產物ノ價格

第三條 營業者出稼ヲ爲ストキハ所轄郡市役所ニ於テ鑑札ヲ受クヘシ

同居ノ家族雇人ヲシテ行商セシムルトキハ營業主ニ於テ鑑札ヲ受ケ携帯セシムヘシ

第四條 自轉車所有者ハ届出ト同時ニ郡市役所又ハ郡長ノ指定シタル町村役場ニ於テ車体ニ鑑札ノ緊付ヲ受クヘシ但シ鑑札ハ廢車場合ノ外取外スコトヲ得ス

第五條 自用馬車、自用人力車、荷臺八坪未満荷積小車、花車及放鳥車ハ届出ト同時ニ郡市役所

又ハ郡長ノ指定シタル町村役場ニ於テ車体ニ檢印ヲ受クヘシ

第六條 郡市長ニ於テ必要アリト認ムルトキハ船車ノ檢査ヲ爲スコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ船車所有者ハ郡市長ノ指定シタル場所ニ物件ヲ差出スヘシ

第七條 職工中賃工錢ヲ受クサル二十歳未満ノ徒弟、見習、縣稅賦課規則第三十八條第一號

(廢疾、不具) 第四號(廢疾、不具) 第十一號乃至第十三號第十六號第十八號ニ該當スルモノ及官公用ニ供スル船車ハ營業者又ハ物件所有者ニ於テ其ノ營業開始、物件所有ノ日ヨリ三日以内ニ郡市長ニ届出テ除稅鑑札又ハ免稅ノ檢印ヲ受クヘシ

賦課規則第三十八條第十二號ノ車ニハ車体ノ左側ニ其ノ用途ヲ記載スヘシ

第八條 郡市役所ニ於テ標札鑑札ノ交付ヲ受ケタル者ハ標札ハ營業場戶外ノ見易キ位置ニ掲ケ鑑

札ハ船ニ在リテハ艫ノ内部ニ釘付シ其ノ他ハ各自之ヲ携帶スヘシ

第九條 市場中賣上金高ヲ標準トシ賦課ヲ受クヘキ營業者ハ帳簿ヲ調製シ開設ノ都度品目、數量、

賣却金等ヲ明確ニ記載シ其賣上金高ヲ郡市長ニ届出ツヘシ

第十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ其ノ事故ノ生シタル日ヨリ三日以内ニ郡市長ニ届出ツヘシ但シ死亡ノ場合ハ戶籍法ニ依ル届出義務者ニ於テ其ノ手續ヲ爲シ第八號ノ場合ハ双方連署ス

ヘシ

一 住所移轉、改氏名

二 廢業、死亡、物件ノ亡失廢棄

三 營業ノ繼承

四 國稅納稅義務者ニ變更

五 除稅又ハ免稅事由ノ消滅

六 營業場、船籍港、定繋場ノ變更

七 課目課額ニ定メタル課稅標準ノ異動

八 物件ノ賣買、讓與、讓受

第十一條 郡市長ニ於テ第一條及前條第七號ノ課稅標準トナルヘキ事項ヲ不相當ト認メタルトキハ之ヲ査定スヘシ

第十二條 標札鑑札ハ賣買、貸借、讓與若ハ讓受ノ目的ト爲スコトヲ得ス

標札鑑札ヲ亡失毀損シ又ハ其ノ記載事項ニ異動ヲ生シ若ハ檢印不判明トナリタルトキハ直ニ書換、再渡又ハ再檢印ヲ受クヘシ

第十三條 納稅義務又ハ除稅事由ノ消滅ニ歸シタルモノハ別ニ規定アルモノノ外郡市長ニ標札若ハ鑑札ヲ返納シ檢印ヲ受ケアルモノハ其ノ部分ヲ切取り返納シ又ハ消印ヲ受クヘシ但シ自轉車又ハ檢印ヲ受ケタル船車所有權移轉ノ場合ニ於テ其ノ移轉本縣内ニ係ルトキハ返納又ハ消印ヲ要セス

第十四條 演劇、興行ヲ爲シ遊覽所、市場(年稅ヲ納ムル市場ヲ除ク)ヲ開始シ又ハ屠畜行爲ヲ爲サムトスルモノハ當該官署ニ申告前市町村長ニ申出テ税金ノ豫納ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テ豫定日數又ハ員數ニ異動ヲ生シタルトキハ直ニ届出ツヘシ

第十五條 船ノ間數ハ舳ヨリ艦ニ至ル内部ノ總長ヲ測度シ間位未滿ノ端數ハ切捨テ全長一間未滿ハ一間トス

第十六條 鮎漁稅及牡蠣ノ月割計算方法ハ免許又ハ許可漁業ニ在リテハ漁期ノ月數ニ依リ其ノ他

ニ在リテハ漁業取締規則ニ依ル採捕禁止期間ヲ除キタル月數ニ依ル

第十七條 本則ニ依リ郡長ニ提出スル書類ハ總テ町村長ヲ經由スヘシ

第十八條 本則ニ依ル届出ハ市役所又ハ町村役場ニ出頭シ口ヲ以テ爲スコトヲ得

第十九條 縣稅檢査員ノ檢舉ニ係ルモノハ本人ノ届出ヲ要セス直ニ課稅ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五拾錢以上貳拾圓未満ノ科料ニ處ス

一 第一條第二條第十條ノ届出ヲ爲サス又ハ虛偽ノ届出ヲ爲シタル者

一 第九條ノ帳簿ヲ調製セス又ハ記載ヲ怠リ若ハ虛偽ノ記載ヲ爲シタル者

一 第三條乃至第八條第十二條第十三條ニ違反シタル者

一 鑑札又ハ檢印ナキ船車若ハ自轉車ヲ使用シタル者

第二十一條 營業者物件所有者ハ其ノ營業又ハ物件ニ關シ管理人戸主家族同居人雇人其ノ他ノ從

業者本則ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ責ヲ免ルコトヲ得ス

第二十二條 法人ノ代表者又ハ其ノ雇人其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ本則ニ違反シタル場合

ニ於テハ本則ニ規定シタル罰則ハ之ヲ法人ニ適用ス

第二十三條 家屋稅木稅川下稅ノ賦課細則ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ依ル

○正

誤

第十四條中(當該官署ニ申告前)トアルヲ(其ノ以前ニ於テ)ノ誤